

研修会開催報告

保健師職能委員会第2回研修会 10月21日開催

公益社団法人神奈川県看護協会
保健師職能集会
2024年10月21日

今回の研修会は、DX（デジタルトランスフォーメーション）をどのように保健活動に活用できるのか、講義に加え先駆的事例として開成町の活動の紹介とグループワークを実施いたしました。また、より多くの看護職の皆様が参加し、学ぶ機会を持つことができるようオンライン開催としました。

<講義>

田口先生からは、DX活用の基礎知識と現状の課題、メリットについて教えていただきました。DX推進によって保健師の活動は大きく変わりつつあること、単なるデジタル化ではなく行政保健のパラダイムシフトであり、変革をもたらすものであること、保健師の専門性をもっと発揮するために、デジタルの力をうまく活用していくことなど、私たちの活動を推進するDX活用となるよう、具体的なビジョンを描くことの重要性について示していただきました。

<開成町事例の紹介>

開成町では、DXを活用して「子供に関するデータ連携による見守り支援」が行われています。保健師であり開成町過程センター長の田中氏より、取り組みのご紹介をいただきました。

開成町の子育て支援の現状・課題の整理から、データ連携が、家庭の要支援リスクの判定、分析を可視化し、支援家庭の早期発見・早期支援につながり、切れ目のない支援を目指す取り組みができるかという点ではないか。開成町のDX推進計画が令和3年より計画されている状況を踏まえ、データ連携の事業の体制づくりと、段階的な到達目標を設定したシステム構築の詳細計画、実施検証による仕組みづくりの計画・実施、評価とPDCAサイクルで取り組まれた経過をご紹介いただきました。「現状把握、課題解決のアセスメントの明確化、事業化に向けた計画立案、実践・評価」といった保健師の専門性を発揮した取り組みは、具体的なビジョンを描いてのDX活用とされた好事例として非常に参考になりました。

<グループワーク>オンライン上ではありましたが、活発な意見交流が図られました。

研修名	令和6年度 研修会 テーマ：『保健活動に活用できるDXとは』 講師：田口 敦子 氏 慶應義塾大学看護医療学部 教授 開成町事例紹介：講師：田中 美津子氏 開成町こども課 課長（保健師）
研修年度	2024年度
研修日	2024年10月21日（月）
開催方法	オンライン講習（Zoom）
研修時間	13時30分から16時00分（受付13時00分から）
参加人員	申し込み人数 27名（うち非会員1名） 参加者 16名 職種（保健師10名、助産師1名、看護師5名） 後日オンデマンド配信（11月1日～11月18日） 申し込み人数 49名（うち非会員6名） 受講完了者 25名 職種（保健師16名、看護師9名）
会場	神奈川県総合医療会館 第1研修室よりWeb配信

◆2024.10.21(月)保健師職能委員会 第1回研修会「保健活動に活用できるDXとは」とは
10/21(月)ライブ配信・11/1(金)～11/18(月)オンデマンド配信

アンケート回収 回答数 n=30

申込者(ライブ27,オンデマンド49)

受講者(ライブ16,オンデマンド25)

アンケート回収(ライブ12,オンデマンド18)

アンケート回収率

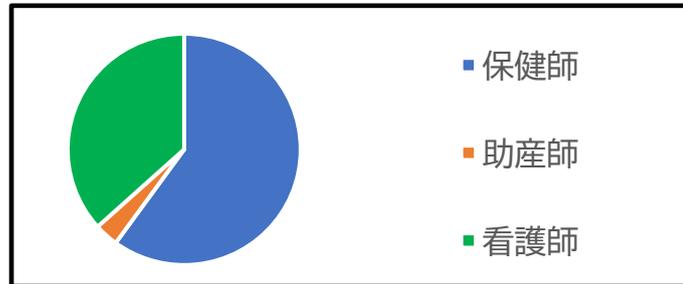
41

30

73.2%

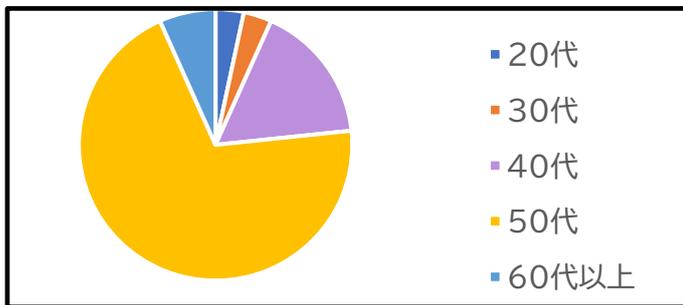
(1) 参加職種

保健師	18
助産師	1
看護師	11



(2) 年代

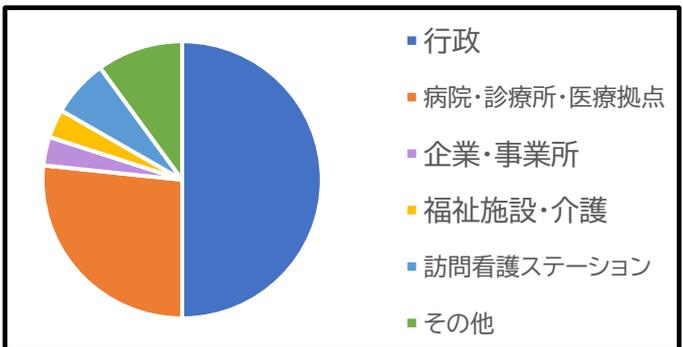
20代	1
30代	1
40代	5
50代	21
60代以上	2



(3) 所属

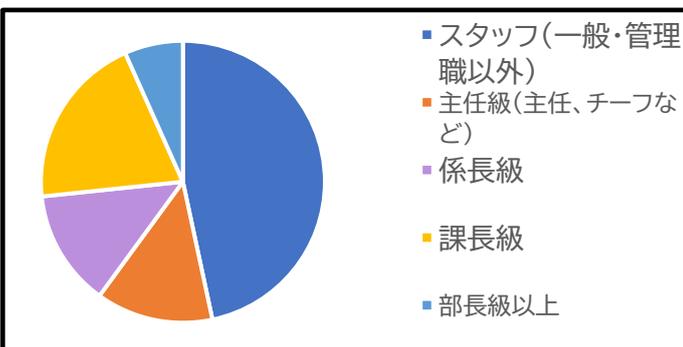
行政	15
病院・診療所・医療拠点	8
企業・事業所	1
福祉施設・介護	1
訪問看護ステーション	2
その他	3

その他・・・看護師養成所、教育機関



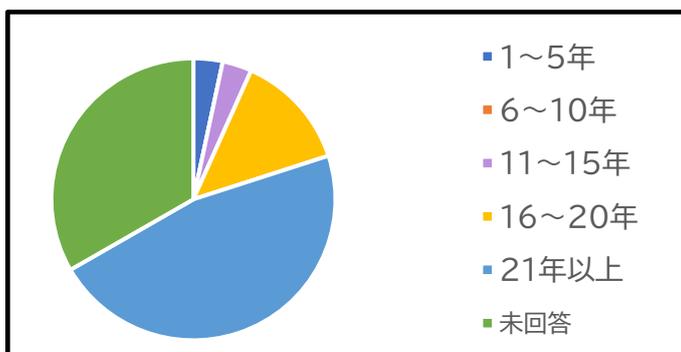
(4) 職位

スタッフ(一般・管理職以外)	14
主任級(主任、チーフなど)	4
係長級	4
課長級	6
部長級以上	2



(3) 経験年数

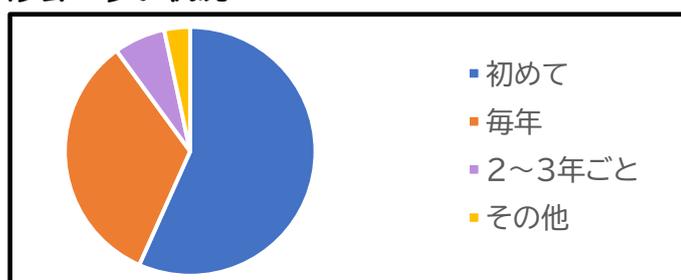
1～5年	1
6～10年	0
11～15年	1
16～20年	4
21年以上	14
未回答	10



1 保健師職能委員会の企画する講演会や研修会の参加状況

初めて	17
毎年	10
2～3年ごと	2
その他	1

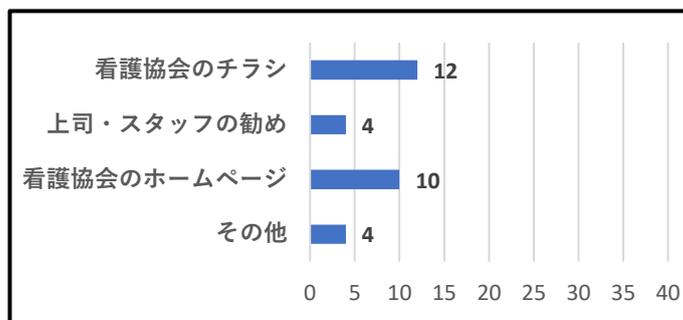
その他・・・テーマと日程によって



2 研修をどのようにして知りましたか

看護協会のチラシ	12
上司・スタッフの勧め	4
看護協会のホームページ	10
その他	4

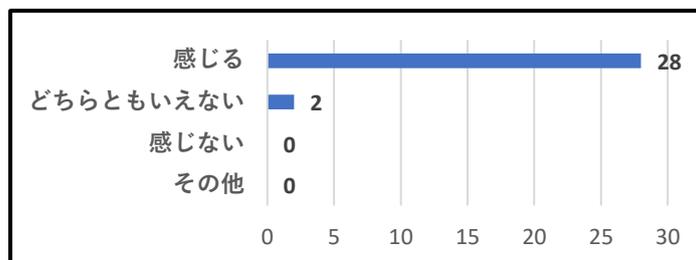
その他・・・看護協会LINE、職能委員からのメール、本庁からの案内、市内の医療セミナー



3 研修の内容について

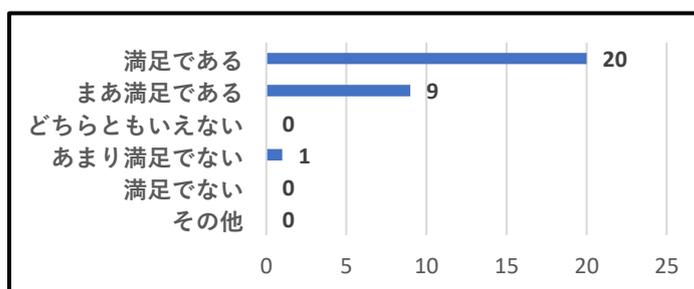
(1) 必要性を感じるものでしたか

感じる	28
どちらともいえない	2
感じない	0
その他	0



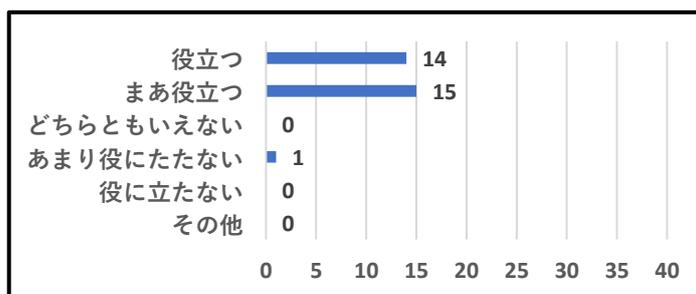
(2) 満足できるものでしたか

満足である	20
まあ満足である	9
どちらともいえない	0
あまり満足でない	1
満足でない	0
その他	0



(3) 今後の職務に役立つものでしたか

役立つ	14
まあ役立つ	15
どちらともいえない	0
あまり役にたたない	1
役に立たない	0
その他	0



4 研修会の感想・お気づきの点

ICTは、業務の効率化が主な目的だと思っていましたが、田口先生、加藤先生のお話を伺い、保健師の保健活動のICT化は、保健活動の評価と利活用につなげるものだとして認識でき、そのような視点がなかったと気づきました。

今回の研修を受けて、DXについての認識が変わりました。開成町の取組みや、他市の事例を伺って、切れ目のない支援の実現や、保健師活動の質の標準化、事務の効率化による活動の充実などがDXによるできるということが理解できました。限られる人員の中で、効率かつ効果的な保健師活動を展開するうえでも、DXが必要だと感じました。

対人サービスを主業務としている保健師にとって、DXは対極にあるように思っていたが、対人サービスの時間の捻出や、サービスの効果を証明するために必要な知識・技術・情報であることがわかった。開成町のシステムは、以前から、そのようになればいいのと思っていたものが実現化しており、更に情報の共有だけではなく支援が必要な住民を抽出までできるシステムになっていること、そしてシステムに頼るだけではなく、最後は人によりアセスメントし支援を行うことに感動した。このようなシステムを全国展開するためには保健師が勉強していかなければならないと思った。自分の業務もDX化したいと思った。

5 今後、研修会でとりあげて欲しいテーマ

- ・データ分析を見据えた、業務の行い方の例
- ・PowerBIで日報の短縮化等
- ・ワークライフバランスへの組織として取り組み
- ・自分自身のケアやモチベーションアップにつながる内容
- ・外来におけるACP支援の取り組みや実例
- ・保健に関わる新しい情報、トピックス